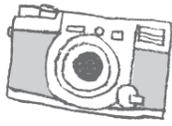


第2回 魅力発見！ 厚真の四季フォトコンテスト 結果発表



平成26年7月11日から平成27年2月2日まで実施された「第2回魅力発見！厚真の四季フォトコンテスト」。第2回目は、サブタイトルに「～あなたが選ぶ厚真のベストショット～」を加え、皆さんが厚真の魅力だと感じるベストショットを募集したところ、計55点の応募がありました。

応募作品の審査は3月27日、大岡好住さん（Gスタジオ大岡）、西尾茂さん（写真同好会）、木戸知二さん（厚真町観光協会事務局長）、佐々木春香（役場広報担当）の4名により総合福祉センターで行われ、募集テーマである「厚真町の魅力が表現されている写真」をはじめ、主題性・表現性・瞬間性・独創性など総合的に評価を行い、入賞作品が決定しました。

入賞作品や応募いただいた全作品は、総合福祉センターで4月22日（水）まで展示しています。また、大賞・入賞作品は、4月24日（金）から2カ月程度、まちなか交流館「しゃべーる」に展示します。なお、作品の一部は町のPR用として、今後ホームページや町を紹介する媒体等で使用される予定となっています。

【入賞作品】

（敬称略）

最優秀賞

新田 正行（苫小牧市）



優秀賞（3点）



藤原 渡（南幌町）



山内 佳子（札幌市）



田中 憲弘（苫小牧市）

入選（3点）



山内 佳子（札幌市）



加賀谷 祐美子（厚真町）



西村 公孝（苫小牧市）

たくさんのご応募
ありがとう
ございました！



ぼうさい

① 防災の主役は地域の人々

今月号から、広報紙で防災コーナーを担当することになりました、防災アドバイザーの定池です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、2013年から厚真町の防災に関わる機会をいただいています。これまで、町職員向けの訓練に始まり、高規格道路への津波避難訓練、学校での防災学習、防災リーダー（北海道が認定する「防災マイスター」など）の研修会、避難所運営訓練などのために訪問しています。どの取り組みにも真摯に向き合ってください厚真の方々に頼もしさを感じています。

3月、国連世界防災会議と同時に、市民世界防災会議が開催されました。私が参加したシンポジウムの中で、各地の被災地の方々と「防災も復興も、『市民』が主役」、ということを再確認してきました。

「防災は地域づくりである」とも言われますが、主役である地域の方々の関わりがなければ絵に描いた餅になってしまいます。これからも、厚真町の防災のサポートをしながら、防災の主役である、厚真のみなさまに活躍していただく「しかけ」をつくっていきたくと考えています。

そしてこれからは、このコラムの中で防災に関するさまざまなレポートをしていきます。どうぞよろしくお願いいたします！

■プロフィール

定池祐季（さだいけ ゆき）

東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター（CIDIR）特任助教。

剣淵町出身。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）。北海道大学助教を経て現職。専門は、災害社会学・防災教育。北海道南西沖地震を奥尻島で経験、災害復興と地域防災に関する研究に取り組むほか、各地で防災教育活動を展開している。2014年より厚真町防災アドバイザー。



■ 今月の内容

- 2☞ 防災コラム・人口・世帯数
- 3☞ 第2回魅力発見！
厚真の四季フォトコンテスト結果発表
- 4☞ こんにちは！厚高です
- 8☞ 町の補助制度をご利用ください
- 9☞ 平成27年度厚真町燃やせるごみ用指定ごみ袋
支給事業のお知らせ・町職員の人事異動
- 10☞ 国民健康保険証更新のお知らせ
- 11☞ 改正パートタイム労働法と改正次世代法が
施行されました
- 12☞ まちの話題
- 16☞ みんなの広場
- 18☞ 健康情報・ほけんの掲示板
- 20☞ 情報ひろば

【お知らせ】

平成27年第1回定例町議会の内容につきましては、紙面の都合上、広報5月号に掲載します。ご了承ください。

■ 今月の表紙

3月13日、厚南中学校（村田宏文校長）で第35回卒業証書授与式が行われ、3年生10人が村田校長から卒業証書を受け取りました。卒業生退場の際には、お世話になった担任の先生へ感謝の言葉が述べられ、卒業生たちは3年間過ごした学び舎を巣立ちました



2015(平成27)年4月 NO. 752

3月31日現在の人口
4,708人(前月比+5)
男 2,314人／女 2,394人
世帯数 2,103(前月比+6)